

しゃっきー



シャッキーは厚岸町社協のシンボルキャラクター名です。

- ふらっとニコニコ広場2018
- これからの福祉は「地域」から！
第13回厚岸町社会福祉大会
- 在宅老人デーサービスセンター 夏のイベントが次々と。
- ニュース&トピックス「厚岸小学校で福祉学習」
- 生活支援コーディネーターのウォーキングマップ



7月6日に毎年恒例の厚岸港まつり市中パレードが行われました。大勢の参加者による厚岸音頭のパレードを、心和園皆さんも観覧しました。



2018 ふらっとニコニコ広場

ふらっとニコニコ広場は、家族や友人など、さまざまな世代が気軽に集える場で、地域の方々が交流し繋がる事で「ふれあいのある地域」を目指す事を目的として開催しています。

今年は去る、7月22日（日）社会福祉センター駐車場で開催しました。前日までは雨予報で屋内開催の心配もありましたが、当日は天気も味方し、最後まで屋外で開催ができ、盛会のまま終了しました。



毎年、パルーンアートが進化しています。翔洋高校ボランティア部



笑いヨガのひとつコマ。笑顔が素敵です。



あこがれの消防車に乗れたよ。



可愛いおりがみがいっぱい！

今回の新企画は「消防署のけむり体験」や釧路ヤクルト販売の「スキンケア体験」、厚岸町商工会青年部による「あつけしのサイダー」販売などで、今年は様々な方の協力により、より一層の盛り上がりを見せました。また、毎年出店している町内障がい事業所は、新メニューの提供もあり、各ブースが賑わっていました。ここからは、当日の様子を写真で紹介します。



会場を練り歩いた鼓魂絆纏の演奏

頑張って演奏した「厚岸小学校金管バンド同好会」

切れのあるダンス！
SWEET☆BOX

童謡を歌いながらカルタを
取る「童謡カルタ」

壁一面に落書きできる、
お絵かきジャングル

厚岸町共同募金委員会からのお知らせ

災害義援金を募集しています



厚岸町共同募金委員会では、災害等により被害を受けられた方々を支援するため、各種義援金を受付けています。お寄せいただいた義援金は北海道共同募金会を通じて被災者に配分されます。みなさまの温かいご支援をよろしくお願ひします。

平成30年 7月豪雨災害義援金

平成30年7月の豪雨により、西日本を中心とした各地で人的被害をはじめ、家屋の倒壊等の甚大な被害が発生

死者219名 行方不明者10名
負傷者364名 建物被害41,845戸
※7月24日11時45分現在の消防庁情報

平成30年 米原市竜巻災害義援金

6月29日の竜巻により滋賀県米原市で住家被害等が発生
負傷者8名 建物被害140戸

平成30年 大阪府北部地震義援金

6月18日の地震により大阪府で住家被害等の大きな災害が発生
死者4名 負傷者434名
建物被害27,878戸

- ◆募金方法 社会福祉センター窓口に募金箱を設置
- ◆受付期限 平成30年9月28日(金)まで
- ◆その他 受付した義援金は、税制優遇措置の対象

になりますので、ご希望の場合は申し出

問い合わせ先：厚岸町共同募金委員会事務局
社会福祉センター ☎52-7752

これからの福祉は「地域」から！ 第13回厚岸町社会福祉大会

これから迎える超高齢化社会に向け、住み慣れた場所で元気に暮らし続けるため今、「地域の力」が必要です。

本大会では、先進的な地域福祉事業で地域の力を引き出し続けている講師に「地域福祉の可能性」と題して講演いただきます。入場は無料。この機会に未来の厚岸のことを一緒に考えませんか？



- 日 時 平成30年8月26日(日)
13:00～功労者表彰・ふくし川柳入賞者 表彰式典
13:30～演題「地域福祉の可能性」
講師 秋田県藤里町社会福祉協議会
会長 菊池まゆみ 氏

- 場 所 厚岸町社会福祉センター大ホール
■お問合せ 厚岸町社会福祉協議会 総務地域課 電話52-7752

講師プロフィール (菊池まゆみ氏)

秋田県藤里町生まれ
1990年 藤里町社会福祉協議会入局
2002年 同協議会 事務局長就任
2015年 同協議会 会長就任
先進的な『ひきこもり支援』や『地域おこし』が評価され、NHKクローズアップ現代などで、その活動がメディアにとり上げられる。2014年エイボン女性年度賞を受賞。



前夜祭にはチャリティービアパーティーを開催します

第13回社会福祉大会の前夜祭には、例年実施しているチャリティービアパーティーを開催します。

このビアパーティーでは、町内の個人・企業・団体などに会券購入のご協力をいただき、イベントにかかる経費を差し引いた余剰金を地域福祉事業の財源として活用します。

参加する皆さまが、厚岸の短い夏の夜にビールを飲みながら楽しく交流することで、地域貢献できるような仕組みになっています。

また、例年のお楽しみ抽選会のほか、シークレット企画を検討していますので、今年もみなさんのご参加をお待ちしています。

- 日 時
平成30年8月25日(土)
18:30～20:00
(※開場は18:15)

- 場 所
社会福祉センター大ホール

■留意事項

- ①会券をお持ちでない方も、受付で会券を購入できます。
- ②ビール銘柄4社(サッポロ・アサヒ・キリン・サントリー)を提供予定です。
- ③アルコールのほか、ソフトドリンクも用意しています。
- ④飲んだ後の車の運転は、ぜったいにいけません。

■問合わせ先

厚岸町梅香2丁目1番地
社会福祉センター内
厚岸町社会福祉協議会
総務地域課：杉本
TEL 52-7752



(左) 写真は昨年度のビアパーティー



在宅老人デイサービスセンター 夏のイベントが次々と。 大盛況の夏祭り

[右]厚岸町社協のシンボルキャラクター「シャッキー」と一緒に、ボランティアの皆さんがたくさん協力してくれました。



デイサービスの一大イベント『夏祭り』を今年も開催しました。7月9日(月)から7月11日(水)までの3日間、皆さんのたくさんの笑顔の中、お馴染みのホットドッグ、クレープのほかに、焼き鳥や、焼きそばの新しいメニューが屋台に加わりました。

ゲームコーナーは昔懐かしい型抜きも登場。じゃんけんゲームや宝探し、ひもくじといったレクリエーションも大盛況の中終わることができました。

たくさんのボランティア様にもご協力をいただき、笑い声のあふれる3日間になりました。

おやじバンド慰問

6月20日(水)、標茶町の北海バンド柳舞(やなぎのまい)が慰問に来ました。

バンドによる演奏では、懐かしいメロディーが次から次へと流れるなか、たまたま来ていたボランティアの配慮もあり、会場みんなで一緒に口ずさむことができて大盛り上がりでした。

音楽演奏だけでなく、メンバーによるレクリエーション指導もあり、アルファベットの「B」のかたちをした大きなチューブを使う3B体操に初挑戦。みなさん楽しく取り組みました。



[上]お楽しみのお宝くじ。宝はどこに入っているのかな？



[上]3B体操は大盛り上がり！



[上]おやじバンドの皆さんと



[上]会場みんなで口ずさむ

[ニュース&トピックス] NEWS&TOPICS

☆社協の行催事の他、町内福祉団体の話題などをまとめてお伝えします。

高齢者の疑似体験 厚岸小学校で福祉学習

5月24日、厚岸小学校5年生を対象に「福祉の学習」をテーマにした出前講座を行いました。

児童たちは、社協職員からの福祉についての話を聞いたあと、高齢者疑似体験セットを装着し、実際に歩いたり、動いたり疑似体験を通して高齢者の気持ちを理解しました。視界がぼやけたり狭くなったりするゴーグルや関節を固定するサーポーターをした児童からは「見えづらくて怖い」、「立ちづらくてバランスがとりづらい」、「声をかけてくれれば安心する」などの声が聞かれました。

同校の児童たちは、この講座を皮切りに、1年間を通しての総合的な学習の時間の中で「福祉の学習」を計画しているようです。



[左] 高齢者疑似体験セットを着け、誘導されながら慎重に階段を下りる児童たち。



[下] 標的に向け、消火器を噴射



[左] 北海道護国神社慰霊大祭を参拝した遺族会員

戦争のない世界平和を祈る 遺族大会・慰霊大祭参加

厚岸町遺族会は、過去の戦争で尊い命を捧げられた戦没者の遺族などで組織され、町内外で行われる遺族大会、追悼式等に参加しています。

今年度も、6月4日に旭川市内ホテルで行われた全道戦没者遺族大会、翌日の戦没者の御霊が奉られている北海道護国神社で行われた北海道護国神社慰霊大祭に、会員5名が参加しました。

参加者は、全道から訪れた遺族とともに、御霊への感謝と追悼の

意を込めて参拝し、今後、戦争が起こらないよう平和を祈り、戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世代へと伝えていく必要があると感銘を受けました。

火事だ！避難だ！炊き出し訓練！ 7月のふれあい会食会

7月12日、社会福祉センターの避難訓練に併せ、ふれあい会食会の参加者が炊き出し訓練を行いました。

7月上旬には、想像以上の豪雨が降り続く事による災害が相次ぎ、「明日は我が身」という気持ちで

訓練に参加しました。

火災発生ベルが鳴り、職員の指示に従いながら、外へ避難を開始。避難後は消火器を使って消火訓練を行いました。また、火災時のけむり体験として、会議室を煙で充満させ、火災時にどのような状態になるのかを体験。予想以上の煙で視界が悪くなり、驚きを隠せない様子でした。

昼食は、災害時に袋へお米を入れて炊飯する「ハイゼックス炊飯」を行いました。炊きあがったお米は、自分でおにぎりを握って食べ、参加者は大変貴重な一日を経験し、笑顔で帰路につきました。



[左]一円玉の旅がらすを口ずさみながら、厚岸町老人クラブ連合会女性部と一緒に手踊りをする心和園の皆様。

[下]心和園の皆様喜んでもらおうと、職員たちが奇抜な衣装を着けて踊った仮装盆踊り。



[右]心和園の皆様が外出。厚床の伊藤牧場で一枚。



古布寄贈と歌や踊りを披露 町老連女性部慰問

特別養護老人ホーム心和園では、6月18日に厚岸町老人クラブ連合会女性部の慰問がありました。

地域交流ホールにて、歌や踊り、手踊りなど様々な演芸を鑑賞しました。

アンコールでは「一円玉の旅がらす」の曲と一緒に女性部の方々の手踊りを真似て、多くの皆様と一緒に手踊りを楽しみました。

また、厚岸町老人クラブ連合会女性部からは多くの古布の寄贈もいただいております。この場をかりて御礼申し上げます。

伊藤牧場で大自然を満喫 心和園外出行事

6月22日、心和園多床室の入所者5名が厚床：伊藤牧場へ行ってきました。

まずは牧場で動物を見学し、新鮮な空気の中で大自然を満喫。昼食は食堂で美味しいランチに舌鼓をうちました。帰りには霧多布湿原の自然の景色も楽しんでいきます。

天候にも大変恵まれ素敵な思い出の1日となりました。暖かい季節となり、心和園では今後も外出行事を予定しています。

8月には故郷の地域巡りやお寺巡りなどを企画しています。

夏の夜の楽しいひととき 心和園仮装盆踊り

特別養護老人ホーム心和園では、7月20日、夕食後に地域交流ホールで仮装盆踊りが行われました。大野会長の挨拶のあと、職員がおのおのに趣向を凝らした衣装をまとい、2チームに分かれ「北海盆歌」、「炭鉱節」、「厚岸音頭」の3曲をそれぞれ披露しました。

みんなで音楽にのって手を振り、途中から一緒に踊りに参加される方もいらっしゃいました。

盆踊り終了後は、おやつとしてアイスクリームを食べて、少し時期としては早い盆踊りでしたが、夏の夜の楽しいひとときを過ごしていただけたかと思います。

生活支援コーディネーターのウォーキングマップ

Vol (1)

みなさんこんにちは！

4月から生活支援コーディネーターとして活動している、厚岸町社会福祉協議会の柏木です。釧路市出身で、趣味は料理と身体を動かすことです。

さて、厚岸町に来て4年目となり、この間、老人クラブや地域のサロン活動などで、皆さんの所へお邪魔させていただきました。



これからは、コーディネーターとして、どんどんみなさん所へ出かけて行きますので、町で見かけたら声をかけて下さいね。どうぞよろしくお願いします。

今回はこれまでの活動内容などを紹介します。

(左)
厚岸町社協のイメージキャラクター「しゃっきー」と。

○ウォーキングマップ「1」

〔老人クラブ〕

白浜ちどり会の定例会へお邪魔しました。

ふまねっとの体験をしたいとの希望でしたので、張り切りました！参加者の皆さんは私以上にお元気で、逆にパワーを頂いて帰りました。



○ウォーキングマップ「2」

〔老人クラブ〕

港町三七十会の花壇整備後の会合に参加しました。地域の困りごとを知るための調査（アセスメント）後は、「笑いヨガ」で心も体も元気に！初めてのヨガ指導は、とても緊張しました。



○ウォーキングマップ「3」

〔地域サロン〕

住の江集会所で毎週火曜に行われている「おかげさま」は、ボランティアが運営する地域のサロン。1食200円の手作り昼食は本当においしい！こんなに安くできるのはみんなの差入れのおかげと主催者は笑います。みんな元気で楽しめる居場所が、これからも続きますように。



【質問】コーディネーターって何をする人なの？

■毎日の困りごとありませんか？

- ◇足腰が痛くて、買い物に行きたいけれど重いものも持てなくなってきて大変
- ◇ゴミの分別、ゴミ捨てが大変
- ◇話し相手がほしい など・・・

■こんなことやってみたい

- ◇人と話すことがすき。趣味を教えたい。
- ◇身につけた技術で人助けがしたい。
- ◇サロンやサークルを立ち上げたい。けれど方法がわからない。 など・・・

その困りごとを一緒に考え、解決へ導くのが仕事です

どんな相談も一緒に考え、解決方法を探し、なければ創り、解決へ導くことが仕事です。

まずは、身近な相談パートナーとして、地域みなさんと共に歩みながら、地域づくりのお手伝いをしたいと思います。困りごとがある時は、社協の柏木まで連絡ください。

《問合せ先》

厚岸町社会福祉協議会 総務地域課 担当：柏木（生活支援コーディネーター）

TEL 52-7752 FAX 52-6044

ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティア通信「なかよし」の定期連載を中止

ボランティア通信「なかよし」の定期連載を今月の社協だよりから中止しました。

連載中止の理由は、記事の中にある「生活支援コーディネーター」が中心になって進める生活支援体制整備事業の実施によるものです。

生活支援コーディネーター業務は、地域のニーズを拾い上げ、

解決するために、人と人を繋いだり、地域活動を作ったりと、いわゆる従来からのボランティアセンター業務も担うものです。

今後は、社協広報誌の中で生活支援コーディネーターからの情報発信に力を入れていきますので、その中で連動したボランティア情報を発信していきます。



ボランティアセンターは従来どおり運営しています。

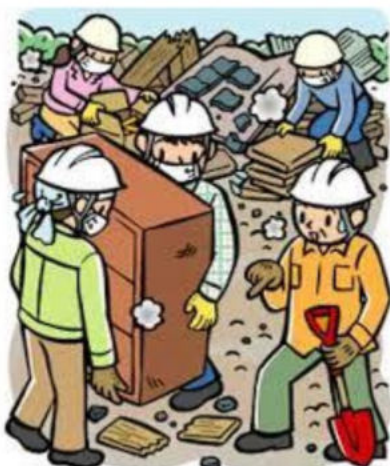
ボランティアセンターは、従来どおりボランティアの活動拠点として運営しています。

ボランティア活動を行いたい人とボランティアの応援を受けたい人を繋ぐため、ボランティアに関わる情報の収集と発信、ボランティアのコーディネート、養成、研修会の企画、ボランティ

ア実践者の交流の場としての機能を発揮するよう努めます。

また、災害時には災害ボランティアセンターの立ち上げもできるよう準備を整えています。

これからも身近な窓口として、ボランティアセンターにご相談ください。（厚岸町ボランティアセンターTEL 52-7752）



社協の 掲示板

社協情報を
お知らせする掲示板

寄付・寄贈ありがとうございます

社協に対し、下記のとおり寄贈がありました。
皆さまの善意ありがとうございます。

(掲載は5月～7月分)

【寄付金】▼一般寄付 鼓魂絆纏18,349円(イベントに際して)

【寄贈品】▼心和園 オムツ/近藤異子さん、
オムツ・衣類等/佐々木由雄さん、ティッシュ
ペーパー/厚岸部会局長夫人会、オムツ/住田
フサノさん、棹前昆布/厚岸漁業協同組合

※寄付・寄贈の際には

当会では、寄付・寄贈を受ける際に、寄付者の意向が反映できるように「だれのために」「どのような事業に」など、希望する使い道を確認させていただきます。

鼓魂絆纏から厚岸港まつりで集めた寄付金を社協へ

7月22日(日)、ふらっとニコニコ広場2018でも活躍した和太鼓パフォーマンス集団「鼓魂絆纏(ここんばんてん)」が、同広場の出演に合わせて、あつけし港まつりの際に集めた寄付金を、大野社協会長に手渡しました。



[上]大野社協会長に寄付金を手渡す鼓魂絆纏の会長三浦佳希さん(写真左)とメンバーたち。

私たちが社協で働いています。

介護職員の會田純也です。

今年の3月で30歳になりました。昨年4月から施設業務課の介護職員として特別養護老人ホーム心和園で勤務しています。趣味はスノーボード、音楽鑑賞です。介護の仕事に興味を持ったのは、祖母が介護を必要になったことがきっかけでした。介護の仕事

は奥が深く、まだまだ自分は未熟です。先輩方に助言をいただきながら、多くのことを学ばせていただいています。今後は資質向上のため、介護福祉士の資格取得を目標としています。また、利用者の皆さんが少しでも笑顔で過ごせるように日々、心掛けていきたいと考えています。



施設業務課
特別養護老人ホーム心和園
介護職員
會田 純也

厚岸町社協広報『しゃっきー』

2018.8/No.164【編集】広報委員会(以下、委員)
米内山紘輝、中野 絹恵、柏木由起子、杉本 裕樹、
山城美奈子、五十嵐愉美、本庄 祐長、小笠原晶子

社会福祉法人厚岸町社会福祉協議会
〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地
厚岸町社会福祉センター内
TEL 0153-52-7752 FAX 0153-52-6044
mail info@akkeshishakyo.or.jp/